

2014 年度手賀沼の生き物調査（魚類・貝類・プランクトン）

手賀沼水生生物研究会 鈴木 盛智



【6月1日】主に水質・生物調査(魚貝類、プランクトン)を行った。今まで未調査域の水路も調査した。

	4	4水路	6	6水路	12	12水路	5
時刻・水温	9:30 27°C	9:30	10:30 27.9°C	10:30	13:30	13:30	11:34 25°C
透視度(cm)	21 cm		21 cm				
モンドリ(6) 30分	0	0	0	0	モツゴ:1、ス ジエビ:5	0	
ガサガサ		フナ、タイリク バラタナゴ、 ヨシノボリ、 ドジョウ		フナ、ハゼ科 の魚、メダカ スジエビ	12	モツゴ、フナ スジエビ	
ケイソウ類	少ない		少ない		ヒメマルケイ ソウ類多い		少ない
藍藻類	ユレモ少し		少ない		ユレモ多い		ユレモ>ミクロ キスティス類
緑藻類	ユードリナ> クンショウモ				クンショウモ >ユードリナ、 ミドリムシ類		クンショウモ 類、ユードリ ナ
動物プランク トン	ツボワムシ		ワムシ>ミジ ンコ>		ハネウデワム シ>ツボワム シ>ミジンコ類		ツボワムシ

【9月6日】魚類調査は主にモンドリ⑤を使用し、特徴的な各地点で定量調査を実施した。水温が高いこの時期はモンドリを使用した調査には適していて例年多くの魚を確認できる。船から降りられる調査場所ではサデ網によるガサガサもおこなった。昨年多く捕れた場所では少なく、年ごとに魚の付き場所が違う傾向が見られた。ハス繁茂帯内側は例年ない大漁だった。

	1	10	11	7	8	6
時刻・気温	9:20~9:50 23.5°C	10:55~11:25 26°C	12:00 27°C	13:20	13:20	
⑤30分	⑤(6)(6) ガサガサ	⑤(6)(6) ガサガサ		⑤(6)	⑤(6)	
モツゴ	123 ○	226 ○	391	131	498	
タイリクバラ タナゴ	11 ○	2 ○	85	23		
スジエビ	○多数	20	57	7	17	
テナガエビ	15 ○	○稚魚多				
ヨシノボリ	○	○	1			
ヌマチチブ	○		1			
ツチフキ	1 ○	1			1	動物プランク トン:ハネウデ ワムシ>ツボ ワムシ>ミジ ンコ
コイ		1 ○				
アメリカザリ ガニ			4			
ブルーギル					2	

【3月7日】この時期は水位が低く、透明度も高いため貝類の調査に向いている。当日は小雨が時折降る寒さであったが、風がないため沼の水の透明度が 20 cm以上あり、貝の調査には大変いい条件であった。貝類の生息に適した地点の底質が、昨年に比べてヘドロが少くなり改善している印象があったが、今回発見できたのは貝殻が多く、ごく小さい貝殻もあり、それもごく最近死んだ可能性が高い。また、手賀沼フィッシングセンター沖の近くで、ごく新しいカラスガイ貝殻を発見した。